

聞

(第3種郵便物認可)



今年度のステファニ・レナト賞 中村葉子さん受賞

東ティモールで修道院長

社会的弱者のために、地道な人道支援を続ける個人や団体に贈られる今年度のステファニ・レナト賞受賞者に、02年に独立した東ティモールで修道院長を務める中村葉子さんが選ばれた。同賞実行委員会(名古屋市中村区)が5日、発表した。同賞は、40年以上にわたって日本で活動した東ティモールの人々の支援中に交通事故死したイタリア人、レナト神父(1937〜03年)

の遺志を継ぐために創設され、今年で8回目。中村さんは神奈川県出身。87年に「名古屋カトリック正義と平和委員会」で活動を始め、東ティモール問題を担当。03年に同国に移り、幼稚園の運営、ボランティア教師の養成などを続けてきた。日本がステファニ・レナト賞の受賞が決まった中村葉子さん(左) 同賞実行委提供

らのNGOと現地をつなぐコーディネーターも務めている。中村さんは同実行委を通じ「建国の困難さに立ち向かう東ティモールの人々と歩みをとることができることを恵みと感じ、毎日を過ごしています。日本からの物心両面の支援を受

け、これからも励んでいきたい」とコメントした。表彰式は22日。記念プレートと副賞30万円が贈られる。同賞はこれまで在日フィリピン人向けの学校や外国人の健康を守る医師らに授与されている。

【山田一晶】

■レナト賞に修道院長の中村さん

社会的弱者への人道的活動を続ける団体や個人を表彰する「ステファニ・レナト賞」に、東ティモールで修道院長を務める中村葉子さんが選ばれた。実行委員会が5日発表した。

中村さんは1947年生まれ。独立前から東ティモールで人道支援に携わり、現在も幼稚園の運営、ボランティア教師の育成、日本のNGOのサポートなどにあたっているという。

同賞は、神父として40年にわたり日本で活動し、名古屋NGOセンターの初代理事長も務めたレナト氏にちなみ創設された。22日に名古屋市で表彰式がある。



東ティモールの独立前から人権擁護活動に取り組んできた中村さん
左=名古屋NGOセンター提供

社会的弱者に寄り添い、人道的活動を続けている団体や個人をたたえる「ステファニ・レナト賞」の本年度受賞者が、東ティモール・デイリ修道院長の中村葉子さん(左)に決まった。
中村さんはカトリック修道女で、一九八七年から名古屋市東区の

人道活動たたえるステファニ・レナト賞

修道院長・中村さんに

東ティモールで人権擁護

「名古屋カトリック正義と平和委員会」で東ティモールの民族自決運動を支援。二〇〇三年に東ティモールへ移住した。長年にわたる人権擁護活動や、名古屋の非政府組織(NGO)活動の現地サポートに貢献したことなどが評価された。

中村さんは「行う活

動の八割までが失敗、と言ってもよいほど、ここでの活動は極めて難しい。日本の皆さまの支援に支えられてこれからも励んでいきたい」とコメントした。表彰式は、二十二日午後、名古屋市のオアシス21で開かれる「ワールド・コラボ・フェスタ2011」の中

で行われる。この賞は、名古屋NGOセンター初代理事長を務め、〇三年に東ティモールで事故死したステファニ・レナト神父の精神を伝えようと、同センターが事務局となり、実行委が〇四年から団体や個人に贈っている。

(柚木まり)